

# 事 業 報 告 書

平成30年度（平成30年4月1日から 平成31年3月31日まで）

## (1) 農作物共済関係

(引受)

区分		項目	組員数 (延)	引受面積	引受収量	共済金額	徴収共済掛金	交付金又は 納入保険料	手持共済掛金	摘 要
			人	a	kg	円	円	円	円	
水 稲 (平成30年産)	一 筆 方 式	東 部	3,202	197,204.9	6,575,982	1,177,376,244				
		高 松	6,636	301,303.3	9,786,405	1,743,409,060				
		小 豆	294	8,958.0	259,978	47,056,018				
		中 讃	4,078	223,088.1	7,407,575	1,335,160,546				
		仲多度	3,282	227,512.7	7,762,574	1,401,428,066				
		三 豊	5,171	265,381.1	9,170,547	1,626,288,574				
		計	<b>22,663</b>	<b>1,223,448.1</b>	<b>40,963,061</b>	<b>7,330,718,508</b>	<b>17,561,513</b>	<b>691,779</b>	<b>18,253,292</b>	
麦 (平成30年産)	一 筆 方 式	小 豆	1	9.8	165	4,785				
		仲多度	3	93.6	1,315	38,135				
		三 豊	2	336.5	5,141	77,115				
		小計	<b>6</b>	<b>439.9</b>	<b>6,621</b>	<b>120,035</b>	<b>1,499</b>	<b>712</b>	<b>2,211</b>	
	災害収入共済方式	東 部	54	34,531.6		122,792,993				
		高 松	150	69,919.9		267,935,018				
		中 讃	122	61,535.0		260,719,620				
		仲多度	147	67,300.5		306,901,153				
		三 豊	106	30,382.4		137,148,505				
		小計	<b>579</b>	<b>263,669.4</b>		<b>1,095,497,289</b>	<b>30,388,781</b>	<b>21,561,828</b>	<b>51,950,609</b>	
	計	<b>585</b>	<b>264,109.3</b>		<b>1,095,617,324</b>	<b>30,390,280</b>	<b>21,562,540</b>	<b>51,952,820</b>		
麦 (平成31年産)	一 筆 方 式	小 豆	3	26.4	498	21,684				
		仲多度	2	145.9	2,964	112,042				
		小計	<b>5</b>	<b>172.3</b>	<b>3,462</b>	<b>133,726</b>	<b>5,333</b>	<b>4,012</b>	<b>9,345</b>	
	災害収入共済方式	東 部	38	25,517.8		96,267,530				
		高 松	97	41,601.4		170,643,714				
		中 讃	95	40,464.5		174,133,313				
		仲多度	137	52,430.5		247,307,299				
		三 豊	99	27,733.0		120,184,992				
		小計	<b>466</b>	<b>187,747.2</b>		<b>808,536,848</b>	<b>30,158,054</b>	<b>23,717,670</b>	<b>53,875,724</b>	
	計	<b>471</b>	<b>187,919.5</b>		<b>808,670,574</b>	<b>30,163,387</b>	<b>23,721,682</b>	<b>53,885,069</b>		

(参考)

水稲	組員数	引受面積	引受収量	共済金額	手持共済掛金
前年度対比	91.3%	96.2%	96.2%	96.6%	35.2%
事業計画対比		99.3%	99.3%	99.7%	99.7%
10 a 当たり			335kg	59,919円	
1組員当たり		54a	1,807kg	323,466円	

麦	組員数	引受面積	引受収量	共済金額	手持共済掛金
前年度対比	80.5%	71.2%		73.8%	103.7%
事業計画対比		71.5%		74.0%	249.5%
10 a 当たり				43,033円	
1組員当たり		399a		1,716,923円	

### 【水稲】

栽培農家の高齢化等に伴い、引受戸数は2,152戸減少の22,663戸（前年対比91.3%）、引受面積は477ha減少の12,234ha（96.2%）、共済金額は2億5,606万円減少の73億3,071万円（96.6%）となった。

また、品種別引受面積では、早期、短期のコシヒカリ及び普通期のヒノヒカリ合わせて県下で71.2%の面積を占めている。前年産より増加した品種は、早期のはえぬき、普通期のおいでまいとなっている。

### 【麦】

収入保険の開始に伴う移行のため引受延戸数は114戸減少の471戸（前年対比80.5%）となり、引受面積は761ha減少し1,879ha（同71.2%）、共済金額は2億8,694万円減少し8億867万円（同73.8%）となった。

一筆方式では、引受延戸数は1戸減少の5戸（同83.3%）、引受面積は2.6ha減少の1.7ha（同39.2%）となり、共済金額は1.3万円増加の13万円（同111.4%）となった。

災害収入共済方式では、引受延戸数は113戸減少の466戸（80.5%）となった。引受面積は759ha減少し1,877ha（同71.2%）となった。共済金額は2億8,696万円減少し、8億853万円（同73.8%）となった。

(被害)

区分		項目	被 害 組合員数(延)	共済減収量 又は減収量	共済金	共済金		摘 要
						共済金額		
			人	kg	円	%		
水 稻	一 筆 方 式	東 部	87	22,493	3,613,750	0.3		
		高 松	144	23,865	4,295,060	0.2		
		小 豆	41	5,354	969,074	2.1		
		中 讃	119	17,319	3,134,739	0.2		
		仲多度	83	19,911	3,603,891	0.3		
		三 豊	116	15,463	2,798,803	0.2		
		計	590	104,405	18,415,317	0.3		
麦 (平成30年産)	一 筆 方 式	小 豆	0	0	0	0.0		
		仲多度	0	0	0	0.0		
		三 豊	0	0	0	0.0		
		小計	0	0	0	0.0		
	災害収入共済方式	東 部	21	99,646	8,559,731	7.0		
		高 松	57	166,751	11,751,967	4.4		
		中 讃	64	285,352	23,167,111	8.9		
		仲多度	44	158,866	8,087,523	2.6		
		三 豊	59	136,810	11,299,873	8.2		
		小計	245	847,425	62,866,205	5.7		
計		245	847,425	62,866,205	5.7			

【水稻】

7月上旬の豪雨により土砂の流入や冠水した耕地があったほか、7月・8月・9月の度重なる台風により倒伏した耕地があった。また、9月4日の台風21号の風雨により出穂直後の普通期水稻において穂擦れが生じ不稔粒や被害粒が発生した。

病害では紋枯病やイモチ病、虫害ではスクミリンゴガイによる田植期直後の稲が食害を受け、欠株が発生した。

獣害では山間部を中心にイノシシ、鳥しょ部ではヌートリアによる被害が見られ、収穫皆無となった耕地もあった。

【麦】

播種期の降雨により練り播きとなった耕地では発芽不良耕地が発生した。また、圃場条件が悪く播種が遅れた耕地では12月から2月の低温により生育不良耕地も見られたほか、収穫前の風雨により倒伏した耕地が一部で発生した。収穫期の長雨により刈取作業が遅れ、品質が低下した耕地もあった。

(支払)

区分		項目	支払月日	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金	
					保険金	手持掛金充当額	法定積立金充当額	特別積立金充当額	その他	共済金	
				円	円	円	円	円	円	円	%
水 稻			平成30年12月20日	18,415,317	0	18,253,292	162,025	0	0	0	100
麦	一筆		-	0	0	51,952,820	10,913,385	0	0	0	-
	災害収入		平成30年11月15日	62,866,205	0			0	0	0	100
計				81,281,522	0	70,206,112	11,075,410	0	0	0	100



項目		有資格 頭数	事業計画 頭数	引受 頭数	引受頭数 事業計画 頭数	共済金額	共済掛金 組員等負担額	交付金又は 納入保険料	手持共済掛金	摘要
区分										
種 豚	東 部	940	940	981	104.4	54,936,000				
	高 松	60	-	-	-	-				
	小 豆	1	1	0	0.0	-				
	中 讃	640	-	-	-	-				
	三 豊	0	941	2	0.2	72,000				
	計	1,641	1,882	983	52.2	55,008,000	659,829	-107,757	552,072	
群単位肉豚	東 部	6,900	-	-	-	-				
	高 松	-	-	-	-	-				
	小 豆	-	-	-	-	-				
	中 讃	-	-	-	-	-				
	仲多度	-	-	-	-	-				
	三 豊	3,207	3,200	2,919	91.2	35,028,000				
計	10,107	3,200	2,919	91.2	35,028,000	1,805,097	-299,833	1,505,264		
農家単位肉豚	東 部	-	-	-	-	-				
	高 松	600	-	-	-	-				
	小 豆	-	-	-	-	-				
	中 讃	7,470	849	913	107.5	10,956,000				
	仲多度	-	-	-	-	-				
	三 豊	3,207	3,200	0	0.0	-				
計	11,277	4,049	913	22.5	10,956,000	3,419	-625	2,794		
種 雄 牛	東 部	-	-	-	-	-				
	計	-	-	-	-	-				
合 計 (30年4~12月)		55,205	40,905	36,705	89.7	7,285,146,007	179,604,928	25,944,197	205,549,125	(交付金 26,352,412 ) (納入保険料 408,215 )

(新制度31年1~3月引受)

項目		有資格 頭数	事業計画 頭数	引受 頭数	引受頭数 事業計画 頭数	共済金額	共済掛金 組員等負担額	交付金又は 納入保険料	手持共済掛金	摘要
区分										
死	搾 乳 牛	東 部	-	-	-	-				
		高 松	63	63	66	104.8	30,914,400			
		小 豆	-	-	-	-	-			
		中 讃	-	-	-	-	-			
		仲多度	-	-	-	-	-			
		三 豊	-	-	-	-	-			
計	63	63	66	104.8	30,914,400	1,155,939	571,307	1,727,246		
産	育 成 乳 牛	東 部	-	-	-	-	-			
		高 松	47	47	55	117.0	30,088,000			
		小 豆	-	-	-	-	-			
		中 讃	-	-	-	-	-			
		仲多度	-	-	-	-	-			
		三 豊	-	-	-	-	-			
計	47	47	55	117.0	30,088,000	236,726	84,130	320,856		
産	繁殖用雌牛	東 部	-	-	-	-	-			
		高 松	1	1	23	2,300.0	8,982,600			
		小 豆	-	-	-	-	-			
		中 讃	12	12	21	175.0	14,942,400			
		仲多度	-	-	-	-	-			
		三 豊	-	-	-	-	-			
計	13	13	44	338.5	23,925,000	230,896	86,614	317,510		
産	育成・肥育牛	東 部	-	-	-	-	-			
		高 松	34	34	608	1,788.2	180,094,400			
		小 豆	-	-	-	-	-			
		中 讃	17	17	34	200.0	19,596,800			
		仲多度	-	-	-	-	-			
		三 豊	-	-	-	-	-			
計	51	51	642	1,258.8	199,691,200	1,379,070	960,542	2,339,612		

区 分	項 目	有資格 頭 数	事業計 頭 数	引 受 頭 数	引受頭数	共 済 金 額	共 済 掛 金 組 合 員 等 負 担 額	交 付 金 又 は 納 入 保 険 料	手 持 共 済 掛 金	摘 要
					事業計 頭 数					
死	種 豚	東 部	-	-	-	-	-	-	-	-
		高 松	-	-	-	-	-	-	-	-
		小 豆	-	-	-	-	-	-	-	-
		中 讃	930	851	1,127	132.4	45,080,000	-	-	-
		仲多度	-	-	-	-	-	-	-	-
		三 豊	1,000	900	688	76.4	19,249,000	-	-	-
	計	1,930	1,751	1,815	103.7	64,329,000	825,912	550,604	1,376,516	
死	特定肉豚	東 部	-	-	-	-	-	-	-	-
		高 松	-	-	-	-	-	-	-	-
		小 豆	-	-	-	-	-	-	-	-
		中 讃	8,450	9,711	9,793	100.8	117,516,000	-	-	-
		仲多度	-	-	-	-	-	-	-	-
		三 豊	6,400	1,560	1,890	121.2	22,680,000	-	-	-
	計	14,850	11,271	11,683	103.7	140,196,000	34,810	23,205	58,015	
死	群単位肉豚	東 部	-	-	-	-	-	-	-	-
		高 松	-	-	-	-	-	-	-	-
		小 豆	-	-	-	-	-	-	-	-
		中 讃	-	-	-	-	-	-	-	-
		仲多度	-	-	-	-	-	-	-	-
		三 豊	800	800	138	17.3	1,656,000	-	-	-
	計	800	800	138	17.3	1,656,000	140,551	93,698	234,249	
病	乳 用 牛	東 部	-	-	-	-	-	-	-	-
		高 松	104	104	99	95.2	3,464,949	-	-	-
		小 豆	-	-	-	-	-	-	-	-
		中 讃	-	-	-	-	-	-	-	-
		仲多度	-	-	-	-	-	-	-	-
		三 豊	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	104	104	99	95.2	3,464,949	1,140,896	955,418	2,096,314	
病	肉 用 牛	東 部	-	-	-	-	-	-	-	-
		高 松	35	35	288	822.9	3,280,324	-	-	-
		小 豆	-	-	-	-	-	-	-	-
		中 讃	29	29	34	117.2	795,700	-	-	-
		仲多度	-	-	-	-	-	-	-	-
		三 豊	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	64	64	322	503.1	4,076,024	694,862	623,443	1,318,305	
病	種 豚	東 部	-	-	-	-	-	-	-	-
		高 松	-	-	-	-	-	-	-	-
		小 豆	-	-	-	-	-	-	-	-
		中 讃	8,439	-	-	-	-	-	-	-
		仲多度	-	-	-	-	-	-	-	-
		三 豊	550	550	9	1.6	35,763	-	-	-
	計	8,989	550	9	1.6	35,763	3,984	2,656	6,640	
合 計 (31年1~3月)		26,911	14,714	14,873	101.1	498,376,336	5,843,646	3,951,617	9,795,263	(交付金 3,951,617 ) (納入保険料 0 )
合 計 (30年4~31年3月)		82,116	55,619	51,578	92.7	7,783,522,343	185,448,574	29,895,814	215,344,388	(交付金 30,038,127 ) (納入保険料 142,313 )

#### 引受の概況

平成31年1月より制度改正により家畜共済が新しくなった。死亡廃用共済と疾病傷害共済に別れ、それぞれの加入。共済目的も包括共済においては搾乳牛、育成乳牛、繁殖用雌牛、育成・肥育牛、繁殖用雌馬、育成・肥育馬、種豚、特定肉豚及び群単位肉豚と変わった。

このことにより前年と単純に比較できないが平成30年12月時点では、乳牛の雌等は廃業により5戸の減、乳用成牛4,482頭（△18頭、前年対比99.6%）、乳用子牛等5,536頭（△112頭、同98%）となった。肉用牛では、廃業等により17戸の減少があり、肥育成牛16,306頭（△474頭、同97.2%）、子牛1,096頭（+122頭、同112.5%）、その他の肉用成牛2,094頭（+182頭、同109.5%）、その他の肉用子牛等2,376頭（+141頭、同106.3%）となった。肥育・繁殖ともに大型農家の規模拡大が主な要因だが、今年度は黒毛和種より安価のF1繁殖牛の増頭が目立った。また種豚では1戸の廃業があったものの、頭数983頭（+81頭、同109.0%）となった。その一方で、群単位肉豚は2,919頭（△382頭、同88.4%）、農家単位肉豚は913頭（+64頭、同107.5%）となった。

共済金額は7,285,146千円（△164,001千円、同97.8%）となり、乳用成牛、肥育成牛及びその他の肉用成牛において1頭当たりの共済金額が減少した。

新制度の引き受けは、死亡廃用共済では期首の飼養頭数に加え、年間の飼養計画を加味した頭数で引き受け、期末に飼養実績により掛金を調整する方式となった。一方疾病傷害共済では従来通り期首の飼養頭数で引き受けることとなった。また、希望する組合員においては旧制度の掛金期間中であっても新制度に移行することが可能となった。

死亡廃用共済は搾乳牛2戸頭数66頭、育成乳牛2戸55頭、繁殖用雌牛4戸44頭、育成・肥育牛6戸642頭、種豚5戸1,815頭、特定肉豚3戸11,683頭、群単位肉豚2戸138頭の引き受けとなった。共済金額は合計490,799千円となった。一方疾病傷害共済では乳用牛2戸99頭、肉用牛6戸322頭、種豚1戸9頭の引き受けとなった。共済金額は合計7,577千円となった。

(旧制度30年4～12月引受分事故)

区 分	死 産 事 故				病 傷 事 故		摘 要
	死亡頭数	廃用頭数	総 頭 数	支払共済金	頭 数	支払共済金	
乳 用 成 牛	275	168	443	109,479,577	3,756	93,097,890	
乳 用 子 牛	5		5	829,827	94	1,141,930	
乳 用 胎 児	424		424	37,067,529	693	9,805,130	
肥 育 用 成 牛	199	80	279	78,927,443	2,351	35,122,670	
肥 育 用 子 牛	87	1	88	13,062,501	2,653	30,424,700	
他 肉 成 牛	24	18	42	11,399,825	1,205	13,992,580	
他 肉 子 牛	2		2	291,044	47	532,380	
他 肉 胎 児	111	1	112	17,018,034	804	13,351,050	
一 般 馬							
種 豚	130	4	134	5,625,974	32	313,090	
群 単 位 肉 豚	425		425	4,878,867			
農 家 単 位 肉 豚							
種 雄 牛							
合 計	1,682	272	1,954	278,580,621	11,635	197,781,420	

(新制度31年1～3月引受分事故)

区 分	死 産 事 故			
	死亡頭数	廃用頭数	総 頭 数	支払共済金
搾 乳 牛	1		1	277,600
育 成 乳 牛	1	1	2	319,664
繁 殖 用 雌 牛				
育 成 ・ 肥 育 牛	2		2	564,300
種 豚	5		5	175,000
特 定 肉 豚				
群 単 位 肉 豚	1		1	12,000
合 計	10	1	11	1,348,564

(新制度31年1～3月引受分事故)

区 分	病 傷 事 故	
	頭 数	支払共済金
乳 用 牛	11	125,470
肉 用 牛	35	396,430
種 豚		
合 計	46	521,900

## 事故の概況

平成31年1月より制度改正により家畜共済が新しくなった。死亡廃用共済と疾病傷害共済に別れ、それぞれでの加入。共済目的も包括共済においては搾乳牛、育成乳牛、繁殖用雌牛、育成・肥育牛、繁殖用雌馬、育成・肥育馬、種豚、特定肉豚及び群単位肉豚と変わった。

このことにより前年と単純に比較できないが旧制度では、死産事故総頭数は、前年度より4頭減の1,954頭（前年対比99.8%）となり、支払共済金は3,114万円増の2億7,858万円（同112.6%）となった。乳用成牛では、乳房炎が19頭増加、また、夏季の高温により熱射病が14頭と前年度より5頭増加した。循環器病24頭増加、消化器病は7頭増加、反対に運動器病は14頭減少した。乳用子牛等は72頭増加し、特に死産が増加した。肥育用牛は循環器病が17頭減少、消化器病が16頭減少したが、呼吸器病が10頭増加、また、熱射病が4頭発生した。その他の肉用成牛は5頭増加し、白血病が9頭発生した。その他の肉用子牛等は19頭の増加、消化器病10頭、その他の胎児異常7頭の増加であった。

病傷事故総頭数は、前年度より886頭増加の11,635頭（前年対比108.2%）となり、支払共済金は3,298万円増の1億9,778万円（同120.0%）となった。1件当たりの共済金も1,600円ほど増加し16,999円となった。共済目的別では乳用成牛は30頭、乳用子牛等は267頭減少したが、肥育牛は892頭、その他の肉用成牛は169頭、その他の肉用子牛は174頭増加した。病類別では呼吸器病787頭、消化器病105頭などが大きく増加した。

依然として呼吸器病が主要疾病を占めている大型農場での呼吸器病対策（ワクチン接種、煙霧消毒等）を今後も継続していく必要があると考えられる。

(損害防止)

特定損害防止

区分	項目	対象疾病	対象頭数	経費概算	摘要
乳牛	繁殖障害		578	2,351,670	
	周産期疾患		313	1,860,440	
	乳房炎		979	3,057,400	
	運動器疾患		1,061	2,246,730	
	寄生虫性腸炎		150	381,380	
肉用牛	繁殖障害		371	1,552,330	
	運動器疾患				
	寄生虫性腸炎		463	1,102,750	
豚	繁殖障害				
その他経費					
合計			3,915	12,552,700	

一般損害防止

区分	項目	対象頭数(回数)	実施内容	経費概算	摘要
健康検査		3,161	運動器予防、下痢症予防、乳房炎検査、BCS	516,023	
予防衛生		126,446	畜舎消毒、暑熱対策、防寒対策、乳房炎予防、乳汁検査、寄生虫駆除、害虫駆除、ビタミン補給、産後起立不能予防、繁殖障害予防、運動器予防、子牛疾病予防、煙霧消毒、尿石症予防、予防注射(豚3種混合、牛イバラキ病、IBR、TSV、牛5種混合、牛6種混合、牛異常産3・4種混合、牛ヘモフィルス、牛大腸菌性下痢症、牛コロナウイルス感染症、牛下痢5種混合、マンヘミア・ヘモリチカ感染症、ボツリヌス感染症)等	7,857,564	
飼養管理指導		78	飼養管理指導、代謝プロファイルテスト、周産期疾病予防指導、巡回指導	3,125,500	削蹄奨励 6,251頭
講習会		4	乳質改善検討会、飼養管理講習会	-	
計				11,499,087	

診療所

診療所名	獣医師数	管内		診療件数		損害防止事業								
		有資格頭数	加入頭数	共済事故	事故外	特損実施内容			一損実施内容					
						種目	頭数	重点事項	経費概算	頭数	重点事項	経費概算	その他	
東部	4	4,230	4,141	1,906	408	乳用牛	799	繁殖障害の検査及び処置指導、寄生虫性腸炎の検査と処置指導	2,632,780	1,761	畜舎消毒の実施 暑熱対策 寄生虫の検査と駆除 乳房炎検査と搾乳衛生指導 プロファイルテストによる 周産期疾病の予防	278,078		
中央	9	6,265	6,193	3,938	847	繁殖障害、周産期疾患、乳房炎、運動器疾患、寄生虫性腸炎	1,370		4,454,840	7,629	繁殖障害の検査と指導 子牛の健康検査、疾病予防 消化器病対策、呼吸器病対策、煙霧消毒	373,640		
小豆出張所	1	530	502	260	113		乳牛	140		332,460	3,924	ビタミンA欠乏症対策 予防注射 飼養管理指導 事故対策の講習・講習会 巡回指導	103,328	
中部	4	6,470	6,294	2,873	338		肉用牛	728	周産期疾患の検査及び処置指導、乳房炎の検査及び処置指導、運動器疾患の検査と処置指導	2,095,930	13,552		150,789	
三豊	5	9,430	9,480	2,964	540	繁殖障害、寄生虫性腸炎	1,018		3,369,150	4,112		697,926		
計	22	26,395	26,108	11,681	2,133		3,915		12,552,700	27,054		1,500,433		

(注) 管内有資格頭数、加入頭数は、乳用、肉用胎児及び肉豚を除く。

## (3) 果樹共済関係

(引受)

## うんしゅうみかん

区分			項目	組合員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	徴収共済掛金	交付金	手持共済掛金	
				人	a	kg	円	円	円	円	
半減	平成28年度	高松		105	2,168.3	262,799	20,552,000				
		小豆		23	473.9	58,143	3,923,000				
		中讃		109	3,059.1	396,916	39,159,000				
		仲多度		31	596.8	86,291	5,789,000				
		三豊		289	9,942.0	1,256,948	83,744,000				
		計		延実	557						
				401	16,240.1	2,061,097	153,167,000	7,340,229	3,204,675	10,544,904	
	相合一	平成29年度	高松		100	2,029.0	225,609	17,456,000			
			小豆		20	418.9	50,768	3,561,000			
			中讃		101	2,861.7	348,332	35,127,000			
仲多度				26	512.0	66,628	4,520,000				
三豊				264	8,950.8	1,100,633	74,706,000				
	計		延実	511							
			373	14,772.4	1,791,970	135,370,000	6,491,263	2,836,228	9,327,491		
殺一般	平成30年度	高松		77	1,511.1	168,844	13,133,000				
		小豆		17	350.2	42,314	3,047,000				
		中讃		91	2,670.8	326,420	33,115,000				
		仲多度		23	436.1	59,026	4,088,000				
		三豊		147	4,312.8	523,051	36,549,000				
	計		延実	355							
			269	9,281.0	1,119,655	89,932,000	4,381,364	1,953,176	6,334,540		

(参考)

うんしゅうみかん	組合員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	手持共済掛金
前年度対比	72.1%	62.8%	62.5%	66.4%	67.9%
事業計画対比		66.0%		72.2%	73.8%
10 a 当たり			1,206 kg	96,899円	

## うんしゅうみかん(災害収入方式)

区分			項目	組合員数	引受面積	基準生産金額	共済金額	徴収共済掛金	交付金	手持共済掛金
				人	a	円	円	円	円	円
災害収入	30年度	三豊		1	44.5	474,621	379,000			
		計		延実	1					
				1	44.5	474,621	379,000	14,402	7,239	21,641

(参考)

うんしゅうみかん災害収入	組合員数	引受面積	基準生産金額	共済金額	手持共済掛金
前年度対比	-	-	-	-	-
事業計画対比	-	-	-	-	-
10 a 当たり			106,656円	85,169円	

## いよかん

区分			項目	組合員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	徴収共済掛金	交付金	手持共済掛金		
				人	a	kg	円	円	円	円		
半減	平成28年度	高松		2	30.0	1,424	69,000					
		中讃		3	41.0	2,640	129,000					
		三豊		4	41.2	2,552	124,000					
		計		延実	9							
				9	112.2	6,616	322,000	9,901	6,713	16,614		
	相合一	平成29年度	高松		2	30.0	1,198	57,000				
			中讃		3	41.0	2,313	110,000				
			三豊		4	41.2	2,209	105,000				
			計		延実	9						
					9	112.2	5,720	272,000	8,325	5,632	13,957	
殺一般	平成30年度	中讃		2	31.0	1,770	90,000					
		三豊		2	21.2	1,082	55,000					
		計		延実	4							
		4	52.2	2,852	145,000	4,988	3,422	8,410				



(参考)

いよかん	組員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	手持共済掛金
前年度対比	44.4%	46.5%	49.9%	53.3%	60.3%
事業計画対比		47.5%		53.7%	64.7%
10 a 当たり			546kg	27,778円	

## 指定かんきつ

区分		項目		組員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	徴収共済掛金	交付金	手持共済掛金
半減相殺一般	平成28年度	高松 中讃 仲多度 三豊 計	人 a kg	14	218.0	10,157	1,275,000			
				2	91.1	2,931	290,000			
				8	281.0	14,809	1,189,000			
				47	1,503.7	81,170	10,245,000			
				延実 71						
				69	2,093.8	109,067	12,999,000	393,505	323,281	716,786
	平成29年度	高松 小豆 中讃 仲多度 三豊 計	人 a kg	14	242.3	9,624	1,363,000			
				2	91.1	3,263	344,000			
				10	330.0	18,768	1,765,000			
				1	36.6	1,282	191,000			
				35	876.1	43,239	6,399,000			
				延実 62						
60	1,576.1	76,176	10,062,000	306,429	252,079	558,508				
平成30年度	高松 小豆 中讃 仲多度 三豊 計	人 a kg	14	252.3	10,501	1,384,000				
			2	89.9	3,692	384,000				
			10	310.0	18,296	1,718,000				
			1	36.6	1,439	197,000				
			22	633.2	31,286	4,252,000				
			延実 49							
47	1,322.0	65,214	7,935,000	244,301	201,440	445,741				

(参考)

指定かんきつ	組員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	手持共済掛金
前年度対比	78.3%	83.9%	85.6%	78.9%	79.8%
事業計画対比		66.1%		63.7%	66.3%
10 a 当たり			493kg	60,023円	

## ぶどう

区分		項目		組員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	徴収共済掛金	交付金	手持共済掛金
半減相殺一般樹園地	平成29年度	東部 高松 中讃 仲多度 三豊 計	人 a kg	7	96.5	8,441	4,707,000			
				10	172.7	15,001	7,953,000			
				19	267.3	19,773	12,770,000			
				3	66.0	2,337	715,000			
				125	1,786.9	132,155	78,260,000			
				延実 164						
	139	2,389.4	177,707	104,405,000	3,395,519	2,737,707	6,133,226			
	中讃	9	252.0	24,353	14,674,000					
		延実 9								
	8	252.0	24,353	14,674,000	232,153	192,533	424,686			
	平成30年度	東部 高松 小豆 中讃 仲多度 三豊 計	人 a kg	5	62.5	4,310	2,063,000			
				9	152.7	13,253	7,717,000			
26				374.7	29,855	20,811,000				
3				66.0	2,117	693,000				
60				873.9	64,359	37,310,000				
延実 103										
90	1,529.8	113,894	68,594,000	2,136,795	1,766,343	3,903,138				

(参考)

ぶどう半相殺	組員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	手持共済掛金
前年度対比	64.7%	64.0%	64.1%	65.7%	63.6%
事業計画対比		60.2%		61.7%	60.0%
10 a 当たり			745kg	448,385円	

## ぶどう (災害収入方式)

区分		項目	組員数	引受面積	基準生産金額	共済金額	徴収共済掛金	交付金	手持共済掛金
災害収入	29年度	仲多度	人	a	円	円	円	円	円
			9	214.6	11,250,504	8,996,000			
		計	延実	9	214.6	11,250,504	8,996,000	269,653	172,492
	30年度	仲多度	7	183.5	6,611,108	5,285,000			
			7						
		計	延実	7	183.5	6,611,108	5,285,000	167,188	105,350

(参考)

ぶどう災害収入	組員数	引受面積	基準生産金額	共済金額	手持共済掛金
前年度対比	77.8%	85.5%	58.8%	58.7%	61.6%
事業計画対比		76.5%		52.6%	56.2%
10 a 当たり			360,278円	288,011円	

## なし

区分		項目	組員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	徴収共済掛金	交付金	手持共済掛金
半相殺	29年度	三豊	人	a	kg	円	円	円	円
			39	711.6	97,642	19,860,000			
		計	延実	39	711.6	97,642	19,860,000	966,797	341,196
	30年度	三豊	29	516.1	75,952	15,792,000			
			29						
		計	延実	17	516.1	75,952	15,792,000	677,698	237,089

(参考)

なし	組員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	手持共済掛金
前年度対比	73.9%	72.5%	77.8%	79.5%	69.9%
事業計画対比		75.9%		83.6%	74.5%
10 a 当たり			1,472 kg	305,987円	

## なし (災害収入方式)

区分		項目	組員数	引受面積	基準生産金額	共済金額	徴収共済掛金	交付金	手持共済掛金
災害収入	30年度	三豊	人	a	円	円	円	円	円
			2	81.3	5,266,778	4,213,000			
		計	延実	2	81.3	5,266,778	4,213,000	191,990	74,447

(参考)

なし災害収入	組員数	引受面積	基準生産金額	共済金額	手持共済掛金
前年度対比	-	-	-	-	-
事業計画対比					
10 a 当たり			647,820円	518,204円	

も も

区分		項目		組員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	徴収共済掛金	交付金	手持共済掛金
半相殺	平成29年度	減収総一般	東部	人	a	kg	円	円	円	円
			高松	12	227.0	14,089	3,844,000			
			中讃	10	218.7	14,366	3,863,000			
			仲多度	87	1,959.7	145,969	39,536,000			
			三豊	12	234.4	16,756	4,369,000			
			三豊	92	1,682.1	109,075	29,554,000			
		計	延実	213						
	平成30年度	減収総一般	東部	11	210.0	12,956	3,558,000			
			高松	10	221.0	13,687	3,673,000			
			中讃	64	1,394.1	95,656	25,902,000			
			仲多度	9	205.9	14,013	3,521,000			
			三豊	39	855.3	48,263	13,276,000			
			計	延実	133					
		計	延実	81	2,886.3	184,575	49,930,000	3,098,077	2,075,313	5,173,390
計	延実	81	2,886.3	184,575	49,930,000	1,918,994	1,289,832	3,208,826		

(参考)

もも	組員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	手持共済掛金
前年度対比	62.8%	66.8%	61.5%	61.5%	62.0%
事業計画対比		70.2%		66.1%	66.9%
10 a 当たり			639kg	172,990円	

か き

区分		項目		組員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	徴収共済掛金	交付金	手持共済掛金	
半相殺	平成29年度	減収総一般	高松	人	a	kg	円	円	円	円	
			中讃	23	850.6	51,852	6,233,000				
			仲多度	29	734.2	47,224	5,446,000				
			三豊	6	145.0	10,124	1,197,000				
			三豊	31	866.5	57,931	6,098,000				
			計	延実	89						
		計	延実	87	2,596.3	167,131	18,974,000	939,493	478,400	1,417,893	
	平成30年度	減収総一般	中讃	33	2,152.0	166,185	16,935,000				
			計	延実	33						
			計	延実	33	2,152.0	166,185	16,935,000	487,801	259,166	746,967
			樹園地	高松	人	a	kg	円	円	円	円
				中讃	20	727.3	43,466	5,018,000			
				仲多度	23	622.2	43,362	4,796,000			
		三豊		4	115.0	7,520	829,000				
三豊	23	633.5		44,524	4,426,000						
計	延実	70									
計	延実	68	2,098.0	138,872	15,069,000	737,676	385,048	1,122,724			
計	延実	33	2,035.1	166,907	16,420,000						
計	延実	33	2,035.1	166,907	16,420,000	474,074	252,389	726,463			

(参考)

かき 半相殺	組員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	手持共済掛金	かき 樹園地	組員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	手持共済掛金
前年度対比	78.2%	80.8%	83.1%	79.4%	79.2%	前年度対比	100.0%	94.6%	100.4%	97.0%	97.3%
事業計画対比		84.9%		84.3%	85.1%	事業計画対比		99.8%		102.3%	100.5%
10 a 当たり			662kg	71,826円		10 a 当たり			820 kg	80,684円	

く り

区分		項目		組員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	徴収共済掛金	交付金	手持共済掛金
半相殺	29年度	減収総一般	東部	人	a	kg	円	円	円	円
			計	延実	12					
		計	延実	12	468.0	3,551	1,339,000	63,416	30,879	94,295
	30年度	減収総一般	東部	11	434.0	3,311	1,249,000			
			計	延実	11					
		計	延実	11	434.0	3,311	1,249,000	58,294	27,943	86,237

(参考)

くり	組員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	手持共済掛金
前年度対比	91.7%	92.7%	93.2%	93.3%	91.5%
事業計画対比		98.6%		99.1%	98.0%
10 a 当たり			76kg	28,779円	

キウイフルーツ（災害収入方式）

区分		項目	組合員数	引受面積	基準生産金額	共済金額	徴収共済掛金	交付金	手持共済掛金
			人	a	円	円	円	円	円
災害収入	平成28年度	高松	13	447.9	16,801,293	11,786,000			
		小豆	7	148.5	9,932,567	7,942,000			
		中讃	2	25.8	1,579,954	1,262,000			
		仲多度	24	852.1	53,686,918	42,939,000			
		三豊	10	134.3	11,835,007	9,463,000			
		計	延実 56	56	1,608.6	93,835,739	73,392,000	1,834,800	513,744
	平成29年度	高松	13	555.4	20,438,057	14,984,000			
		小豆	7	148.5	9,468,729	7,571,000			
		中讃	1	15.1	742,402	593,000			
		仲多度	23	858.2	55,504,453	44,394,000			
		三豊	10	133.3	11,422,266	9,132,000			
		計	延実 54	54	1,710.5	97,575,907	76,674,000	1,916,850	536,718
	平成30年度	高松	11	393.1	15,332,101	12,259,000			
		小豆	4	59.4	3,106,247	2,483,000			
		仲多度	18	519.5	33,867,517	27,085,000			
三豊		10	128.5	11,713,616	9,368,000				
計		延実 43	43	1,100.5	64,019,481	51,195,000	1,279,875	358,365	1,638,240

(参考)

キウイフルーツ	組合員数	引受面積	基準生産金額	共済金額	手持共済掛金
前年度対比	79.6%	64.3%	65.6%	66.8%	66.8%
事業計画対比		62.2%		63.7%	63.7%
10 a 当たり			581,731円	465,198円	

キウイフルーツ（樹体共済）

区分		項目	組合員数	引受面積	共済価額	共済金額	徴収共済掛金	交付金	手持共済掛金
			人	a	円	円	円	円	円
樹体共済	平成29年度	仲多度	1	8.0	937,290	749,000			
		三豊	1	10.2	7,033,721	3,517,000			
		計	延実 2	2	18.2	7,971,011	4,266,000	25,596	17,918
	平成30年度	仲多度	4	264.9	62,965,623	50,370,000			
		三豊	3	25.2	8,393,389	6,712,000			
		計	延実 7	7	290.1	71,359,012	57,082,000	342,492	239,745

(参考)

キウイフルーツ	組合員数	引受面積	共済価額	共済金額	手持共済掛金
前年度対比	350.0%	1594.0%	895.2%	1338.1%	1338.0%
事業計画対比		362.6%		429.2%	428.1%
10 a 当たり			2,459,807円	1,967,666円	

引受の概況

栽培農家の高齢化・後継者不足に伴う栽培中止及び改植・廃園等に加え、収入保険への移行もあり、うんしゅうみかん（前年対比△103戸、△5,446.9a）、いよかん（同△5戸、△60.0a）、指定かんきつ（同△19戸、△772.3a）、ぶどう（同△59戸、△1,142.7a）、なし（同△4戸、△114.2a）、もも（同△48戸、△1,435.6a）、かき（同△19戸、△615.2a）、くり（同△1戸、△34.0a）、キウイフルーツ・災害収入方式（同△11戸、△610.0a）と収穫共済においては大幅な減少となった。樹体共済のキウイフルーツで5戸、271.9aの増加となった。総共済金額においても369,000千円（前年対比127,096千円減、同74.4%）と大幅な減少である。

(被害)

区分		項目		被害組合員数	被害面積	減収量	共済金	共済金 共済金額		
				人	a	kg	円	%		
平成29年産	うんしゅうみかん	半相殺	減収総合一般	高松	41	666.8	39,687	1,190,780	5.8	
				小豆	1	11.2	488	10,780	0.3	
				中讃	37	1,017.2	65,706	2,721,860	7.0	
				仲多度	9	172.6	13,300	419,900	7.3	
				三豊	87	3,479.6	203,436	5,115,300	6.1	
				計	延実	175	5,347.4	322,617	9,458,620	6.2
平成29年産	いよかん	半相殺	減収総合一般	高松	0	0.0	0	0	0.0	
				中讃	0	0.0	0	0	0.0	
				三豊	0	0.0	0	0	0.0	
				計	延実	0	0.0	0	0	0.0
平成30年産	指定かんきつ	半相殺	減収総合一般	高松	5	72.0	1,432	70,620	5.5	
				小豆	0	0.0	0	0	0.0	
				中讃	4	105.0	2,603	97,230	8.2	
				三豊	12	542.7	12,525	571,870	5.6	
				計	延実	21	719.7	16,560	739,720	5.7
平成30年産	ぶどう	半相殺	減収総合一般	東部	2	38.5	1,078	275,640	5.9	
				高松	1	15.0	698	168,700	2.1	
				中讃	7	90.4	2,870	464,600	3.6	
				仲多度	2	50.0	644	80,380	11.2	
				三豊	29	523.9	14,965	2,421,180	3.1	
				計	延実	41	717.8	20,255	3,410,500	3.3
		樹園地	災害収入共済	中讃	1	5.0	461	240,170	1.6	
				計	延実	1	5.0	461	240,170	1.6
				仲多度	2	50.0	1,076	591,902	6.6	
				計	延実	2	50.0	1,076	591,902	6.6
30年産	なし	半相殺	減収総合一般	三豊	11	201.5	10,561	583,250	2.9	
				計	延実	11	201.5	10,561	583,250	2.9
平成30年産	もも	半相殺	減収総合一般	東部	1	10.0	194	14,800	0.4	
				高松	1	14.2	295	19,440	0.5	
				中讃	26	693.6	21,749	1,541,240	3.9	
				仲多度	1	15.0	396	68,100	1.6	
				三豊	21	541.0	13,942	1,076,890	3.6	
				計	延実	50	1,273.8	36,576	2,720,470	3.4
平成30年産	かき	半相殺	減収総合一般	高松	16	596.3	16,391	906,450	14.5	
				中讃	10	333.4	12,036	831,660	15.3	
				仲多度	3	92.0	2,888	138,130	11.5	
				三豊	11	342.2	13,867	1,072,770	17.6	
		計	延実	40	1,363.9	45,182	2,949,010	15.5		
		樹園地	中讃	10	359.7	17,152	738,640	4.4		
計	延実	10	359.7	17,152	738,640	4.4				
30年産	くり	半相殺	減収総合一般	東部	6	135.0	428	91,130	6.8	
				計	延実	6	135.0	428	91,130	6.8
平成29年産	キウイフルーツ	災害収入共済	高松	3	35.9	888	503,029	4.3		
			小豆	3	93.5	4,553	284,525	3.6		
			中讃	0	0.0	0	0	0.0		
			仲多度	9	388.9	15,587	4,823,799	11.2		
			三豊	3	33.5	2,184	592,110	6.3		
計	延実	18	551.8	23,212	6,203,463	8.5				

区分		項目	被害 組合員数	被害面積	減収量	共済金	共済金 共済金額
平成 29 年産	キウイ フルーツ	樹 体 共 済	人	a	kg	円	%
		仲多度	0	0.0		0	0.0
		三 豊	1	10.2		272,870	7.8
		計	延 実 1	10.2		272,870	6.4

#### 被害の概況

##### 【平成29年産うんしゅうみかん、平成30年産指定かんきつ】

高温乾燥により生理落果が多く発生し着果不足であった。相次ぐ台風の襲来と長雨により傷果、汚損果、浮皮が発生した。特にうんしゅうみかんの収穫期にあたる10月は平年比3倍以上の降水があり、腐敗果が多く見られた。また、収穫期にはサル・イノシシによる食害があった。

##### 【平成29年産キウイフルーツ】

開花期にあたる5月上旬から中旬の強風で新梢が折損したことに加え、9月の台風18号及び10月の台風21号の影響により落果、樹上軟化が発生した。また、7月下旬から9月上旬において、少雨乾燥傾向で推移した後、9月中旬以降の多雨により、土壌が湿潤状態となり、根の活力が低下して樹勢が衰弱したことから、落葉、落果及び樹体の枯死が発生して減収した。

##### 【もも】

梅雨入りは5月末と早かったが、空梅雨であったため小玉果が多かった。7月上旬の集中豪雨により枝折れ、落果、傷果が多発した。大雨の後、傷果からの汚損果・腐敗果、核割れからの落果、灰星病や穿孔細菌病が発生した。またイノシシ、サル、カラスによる食害も発生した。

##### 【なし】

7月上旬の豪雨の後、8月下旬にかけて連日の高温により、肥大が阻害され小玉果が発生した。台風12号、台風20号、台風24号の強風によって一部園地で傷果、落果が発生した。イノシシによる食害も発生した。

##### 【くり】

台風20号及び台風21号がもたらす強風雨により、枝折れ、落毬が見られた。一部園地において毛虫による食害が発生した。サル、イノシシによる食害が発生した。

##### 【ぶどう】

7月上旬の豪雨やその後の台風の襲来により腐敗果、裂果が発生。7月の豪雨で根が痛み樹勢が低下していたところに、8月末まで高温・乾燥が続いたため、葉やけ、落葉が発生したことに加え、果粒障害(縮果症・着色不良等)が発生し、品質低下及び減収となった。カラス、タヌキ、ハクビシン、イノシシによる食害も発生した。

##### 【かき】

8月下旬からカメムシによる吸汁被害や、カキノヘタムシガによる果実への食入被害により汚損果、軟化果が多発し減収した。相次ぐ台風や長雨で9月は平年の4倍近い降雨がありヘタスキ果、落葉病、炭疽病が発生した。イノシシ、サル、カラスによる食害も見られた。

区分	項目	支払月日	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金 共済金
				保険金	手持掛金充当額	法定積立金充当額	特別積立金充当額	その他	
半 相 殺 減 収 総 合 一 般	うんしゅうみかん	平成30年5月25日	9,458,620	0	9,458,620	0	0	0	100
	いよかん	-	-	-	-	-	-	-	-
	指定かんきつ	平成30年5月25日	739,720	0	716,786	22,934	0	0	100
	ぶどう	平成31年2月14日	3,410,500	0	3,410,500	0	0	0	100
	なし	平成30年12月20日	583,250	0	583,250	0	0	0	100
	もも	平成30年11月21日	2,720,470	0	2,720,470	0	0	0	100
	かき	平成31年2月28日	2,949,010	1,305,057	1,417,893	226,060	0	0	100
	くり	平成30年12月20日	91,130	0	91,130	0	0	0	100
	計		19,952,700	1,305,057	18,398,649	248,994	0	0	100
樹 園 地	ぶどう	平成31年2月14日	240,170	0	240,170	0	0	0	100
	かき	平成31年2月28日	738,640	0	738,640	0	0	0	100
	計		978,810	0	978,810	0	0	0	100
災 害 収 入	ぶどう	平成31年2月14日	591,902	119,795	442,145	0	0	29,962	100
	キウイフルーツ	平成30年8月10日	6,203,463	3,337,321	2,348,544	0	0	517,598	100
	計		6,795,365	3,457,116	2,790,689	0	0	547,560	100
樹 体	キウイフルーツ	平成30年8月10日	272,870	187,992	43,514	0	0	41,364	100
	計		272,870	187,992	43,514	0	0	41,364	100

(4) 畑作物共済関係

(引受)

畑作物区分			項目	組合員数	引受面積	引受収量	共済金額	徴収共済掛金	交付金又は 納入保険料	手持共済掛金	摘要	
				人	a	kg	円	円	円	円		
平成 30 年度	第一区分	大豆	東部	12	1,091.0	6,995	979,997					
			高松	29	739.4	5,048	3,114,555					
			中讃	7	558.2	3,469	883,147					
			仲多度	33	806.6	6,093	2,707,423					
			三豊	6	255.3	1,750	603,640					
			計	延実	87 84							
					3,450.5	23,355	8,288,762	350,548	258,268	608,816		
	第二区分	茶 (平成31年産)	高松	-	-	-	-					
			仲多度	3	300.0	-	1,895,000					
			三豊	-	-	-	-					
計			実	3	300.0	-	1,895,000	77,354	36,212	113,566		
平成 29 年度	第二区分	茶 (平成30年産)	高松	-	-	-	-					
			仲多度	4	370.0	-	2,011,000					
			三豊	1	37.0	-	240,000					
			計	実	5	407.0	-	2,251,000	92,752	44,077	136,829	

(参考)

大豆

項目	組合員数	引受面積	引受収量	共済金額	手持共済掛金
前年度対比	82.9%	85.4%	82.6%	77.5%	77.1%
事業計画対比		96.1%		84.5%	83.5%
10 a 当たり			68kg	24,022円	

平成30年産大豆の引き受けは、栽培の取り止め、大規模農家の規模縮小により、引受戸数は、18戸減少し、87戸（前年対比82.9%）となった。引受面積は5.9ha減少の34.5ha（同85.4%）、共済金額は241万円減少し、828万円（同77.5%）となった。

茶

項目	組合員数	引受面積	基準収穫量	共済金額	手持共済掛金
前年度対比	60.0%	73.7%	83.5%	84.2%	83.0%
事業計画対比		73.7%		84.1%	78.3%
10 a 当たり			304kg	63,167円	

平成31年産茶の引き受けは、高齢及び栽培意欲の減退による廃園により減少した。引受戸数は2戸減少し、3戸（前年対比60.0%）となった。引受面積は107.0a減少の300.0a（同73.7%）、基準収穫量は1,798kg減少の9,116kg（前年対比83.5%）、共済金額は35万円減少の189万円（同84.2%）となった。

(被害)

畑作物区分		項目	被害 組合員数	共済減収量 又は減収量	共済金	共済金		摘 要
						共済金額		
			人	kg	円	%		
第一区分	大豆	東 部	7	1,135	211,251	21.6		
		高 松	10	345	328,916	10.6		
		中 讃	2	81	85,131	9.6		
		仲多度	19	716	674,957	24.9		
		三 豊	3	96	66,256	11.0		
		計	延 実	41 40	2,373	1,366,511	16.5	
第二区分	茶 (平成30年産)	仲多度	1	1,171	208,901	10.4		
		三 豊	0	0	0	0.0		
		計	延 実	1 1	1,171	208,901	9.3	

大豆の被害は、7月中旬から開花期の8月下旬までは降水量が少なく、気温も異常高温となって干害が発生し、着莢不足に繋がった。また、7月29日の台風12号、8月15日には台風15号、8月23日には台風20号、そして9月4日の台風21号の影響で落花が発生し、着莢不足となったほか、光合成不足、養分の転流に影響し、登熟不良を招いた。さらに9月の台風に伴う降雨やその後の長雨、日照不足によって雨害湿潤害となり、落花や結実不良、そして前述の夏場の高温・乾燥により着莢数が極端に減少した耕地も見られるなど、異常災害となった。

茶の被害については、最低気温が財田において3月10日から3月12日にかけてと17日が氷点下となったほか、22日から下旬にかけての低温により凍霜被害が発生した。これによって、被害を受けやすい地形要因に加えて、加入農家の中で最も樹齢が古く、樹勢が弱まっていた一戸の被害率が通常標準被害率を超える異常災害となった。

(支払)

畑作物区分		項目	支払月日	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金 共済金
					保険金	手持掛金充当額	法定積立金充当額	特別積立金充当額	その他	
				円	円	円	円	円	円	%
第一区分	大豆		平成31年3月8日	1,366,511	558,894	608,816	198,801	0	0	100
第二区分	茶		平成30年11月5日	208,901	34,264	136,829	0	0	37,808	100
計				1,575,412	593,158	745,645	198,801	0	37,808	100



(5) 園芸施設共済関係

(引受)

施設区分	項目	組員数	引受棟数	設置面積	共済価額
		人	棟	㎡	円
ガラス室	I類				
	II類	31	90	48,803	535,431,000
プラスチックハウス	I類				
	II類	861	2,223	679,356	1,657,854,000
	III類	371	524	397,582	1,675,010,000
	IV類甲	129	172	175,909	913,340,000
	IV類乙	39	51	41,173	251,600,000
	V類	26	33	25,966	205,667,000
	VI類	45	301	51,104	119,614,000
VII類	2	2	730	759,000	
計		延実 1,504 1,285	3,396	1,420,623	5,359,275,000

共済金額	徴収共済掛金	交付金	手持共済掛金
円	円	円	円
428,272,000			
1,324,666,000			
1,339,601,000			
730,521,000			
201,240,000			
164,509,000			
95,360,000			
606,000			
4,284,775,000	21,758,457	15,326,019	37,084,476

支所	項目	組員数	引受棟数	設置面積	共済価額
		人	棟	㎡	円
東部		265	619	246,651	997,610,000
高松		157	376	171,796	543,314,000
小豆		77	134	76,437	303,757,000
中讃		269	554	253,282	862,380,000
仲多度		251	741	208,449	736,346,000
三豊		485	972	464,008	1,915,868,000
計		延実 1,504 1,028	3,396	1,420,623	5,359,275,000

共済金額	徴収共済掛金	交付金	手持共済掛金
円	円	円	円
797,716,000			
434,415,000			
242,926,000			
689,454,000			
588,414,000			
1,531,850,000			
4,284,775,000	21,758,457	15,326,019	37,084,476

(参考)

施設区分	項目	1棟当たり平均		
		共済価額	共済金額	付保割合
		円	円	%
ガラス室	I類			
	II類	5,949,233	4,758,578	80.0
プラスチックハウス	I類			
	II類	745,773	595,891	79.9
	III類	3,196,584	2,556,490	80.0
	IV類甲	5,310,116	4,247,215	80.0
	IV類乙	4,933,333	3,945,882	80.0
	V類	6,232,333	4,985,121	80.0
	VI類	397,389	316,811	79.7
VII類	379,500	303,000	79.8	
計(平均)		1,578,114	1,261,712	80.0

(参考)

項目	組員数	引受棟数	設置面積
	%	%	%
前年度対比	96.7	99.4	97.3
事業計画対比		101.8	

また、県内で増加傾向にあるアスパラガス栽培の新設ハウスに対しては、「撤去費用」及び「復旧費用」を付加したセット推進を行い新規引受実績確保に努めた。

引受実績は、戸数 1,504戸(前年対比96.7%)、棟数3,396棟(同99.3%)、面積1,420,623㎡(同97.3%)、共済金額 42億8,477万円(同103.2%)となり、共済金額ベースでは撤去、復旧費用付加推進の結果、前年を上回る実績となった。

支所別では、中讃支所が顕著に実績を伸ばし、引受戸数9戸増(前年対比103.5%)、棟数22棟増(同104.1%)、共済金額17,472千円増(同108.5%)となり、前年度実績を上回った。また、仲多度支所においても棟数7棟増(同101.0%)、共済金額47,617千円増(同108.8%)となり前年度実績を大きく上回った。共済金額については、東部支所103.3%、小豆支所100.1%、三豊支所104.4%となっており、高松支所を除く全ての支所で前年度を上回る実績となった。

施設区分ごとでは、プラスチックハウスII類の実績が特に伸びており、「撤去費用」の付加推進を行った結果、共済金額 9,122万円増(同107.3%)、プラスチックハウスIII類においても共済金額で4,440万円増(同103.4%)となった。パイプハウスIV類甲、パイプハウスV類(鉄骨上)雨よけハウスにおいても、金額ベースで前年度を上回る実績となった。

引受の概況

園芸施設による安定した収益の確保と高付加価値経営を目指す新規就農者が増加しており、プラスチックハウスを中心に多数棟を所有する傾向にある。

引受推進方策としては、未加入農家及び新規就農者に対し、一斉推進期間及び推進地域を絞った推進を行った。特にプラスチックハウスII類の継続加入分については、「撤去費用」を付加したセット推進を行った。

(被害)

施設区分	項目	被害			損害の額	共 済 金						共済金	
		組合員数	棟 数	附帯施設数		特定園芸施設	特定園芸施設 復旧費用	撤去費用	附帯施設	附帯施設 復旧費用	施設内農作物	合 計	共済金額
		人	棟	基	円	円	円	円	円	円	円	円	%
ガラス室	I 類												
	II 類												
プラスチックハウス	I 類												
	II 類	106	133	1	11,527,884	8,467,404	113,000	30,652	60,756		541,934	9,213,746	0.70
	III 類	69	81		16,103,701	11,308,785		766,821			805,131	12,880,737	0.96
	IV類甲	17	18		2,034,685	1,627,618						1,627,618	0.22
	IV類乙	2	2		226,375	181,099						181,099	0.09
	V 類	1	1		96,393	77,018						77,018	0.05
	VI 類	1	1		108,900	86,902						86,902	0.09
計		196	236	1	30,097,938	21,748,826	113,000	797,473	60,756	0	1,347,065	24,067,120	0.56

支 所	項目	被害			損害の額	共 済 金						共済金	
		組合員数	棟 数	附帯施設数		特定園芸施設	特定園芸施設 復旧費用	撤去費用	附帯施設	附帯施設 復旧費用	施設内農作物	合 計	共済金額
		人	棟	基	円	円	円	円	円	円	円	円	%
東 部		54	68		6,968,097	5,571,969						5,571,969	0.70
高 松		12	15		1,099,815	611,015		166,821			100,921	878,757	0.20
小 豆		10	10		852,982	682,287						682,287	0.28
中 讚		33	39	1	3,713,823	2,908,286			60,756			2,969,042	0.43
仲 多 度		25	32		2,559,544	2,046,432						2,046,432	0.35
三 豊		62	72		14,903,677	9,928,837	113,000	630,652			1,246,144	11,918,633	0.78
計		196	236	1	30,097,938	21,748,826	113,000	797,473	60,756	0	1,347,065	24,067,120	0.56

被害の概況

平成30年度は、被害棟数が236棟、支払共済金は総額で2,406万円となった。

主な災害別では、平成30年8月23日に接近した台風20号（最大瞬間風速 21.8m/s）の被害で54棟に対し、425万円の共済金を支払った。また、平成30年9月4日に接近した台風21号（最大瞬間風速 31m/s）では、近県において大きな災害をもたらした激甚災害の指定を受ける被害となったが、本県においては被害棟数が62棟となり、支払共済金は416万円となった。また、平成30年9月30日に接近した台風24号（最大瞬間風速 29.5m/s）においても被害棟数が62棟となり、588万円の共済金を支払った。

その他では、平成30年12月17日に観音寺市室本町から八幡町にかけて竜巻が発生し、園芸

団地 9棟の施設が倒壊するなど広範囲で被害を受け、撤去費用共済金を含め593万円の共済金を支払った。

共済事故種類別の支払状況は、風害が 226棟（支払共済金 2,265万円）、風水害による施設内農作物の被害が 3棟（同 68万円）、落雷による附帯施設被害が 1棟（同 6万円）、単独病虫害による施設内農作物の被害が 6棟（同 66万円）であった。施設内農作物における被害の内訳は、ハウスメロン（つる枯病） 4棟（同 48万円）、トマト（疫病）1棟（同 10万円）、菊（白さび病）1棟（同 7万円）となっている。

(支払)

実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金
	保 険 金	手持掛金充当額	法定積立金充当額	特別積立金充当額	そ の 他	共 済 金
円	円	円	円	円	円	%
24,067,120	2,973,926	21,093,194	0	0	0	100

(6) 任意共済関係

1 建物共済

(引受関係)

支 所	項 目	引受棟数	共済金額	共 済 掛 金			1棟当たり 平均共済金額	再共済掛金	再共済手数料
				純共済掛金	賦課金	合計			
		棟	千円	円	円	円	円	円	円
東	部	13,209	156,583,060	97,316,830	61,517,988	158,834,818			
高	松	20,511	276,288,750	140,982,852	102,482,100	243,464,952			
小	豆	1,539	17,412,500	10,782,439	6,323,803	17,106,242			
中	讃	18,404	225,946,120	119,106,012	85,523,933	204,629,945			
仲	多 度	16,292	191,717,920	98,735,904	70,980,581	169,716,485			
三	豊	27,356	354,023,450	175,430,033	130,378,320	305,808,353			
	計	97,311	1,221,971,800	642,354,070	457,206,725	1,099,560,795	12,557,386	339,255,107	123,544,774

引受の概況

平成30年度は、前年度の仕組み改善が浸透したこともあり、総合共済の引き受けが拡大した。また6月の大阪北部地震、7月の豪雨災害、9月の台風災害など、近県での自然災害が多発したことも総合共済の引き受けが拡大した要因のひとつと考えられる。

総合共済の実績は、引受棟数 4,797棟(前年対比 665棟増、116.1%)、共済金額は 447億円(同 72億円増、119.1%)。火災共済では、引受棟数が 92,514棟(同 4,204棟減、95.7%)、共済金額は1兆1,772億円(同 582億円減、95.3%)となった。

(参考)

項 目	共済金額 (千円)	前年度対比 (%)	事業計画対比 (%)	1 組合員当たり 共済金額 (円)
総 合	44,714,750	119.1	113.4	
火 災	1,177,257,050	95.3	97.5	
計	1,221,971,800	96.0	98.0	25,679,229

(事故関係)

支 所	項 目	事故棟数	加入総共済 金額 (イ)	支 払 共 済 金 (ロ)				再共済金	被 害 率 (ロ) / (イ)
				火災	拡張担保	自然災害	合計		
		棟	千円	円	円	円	円	円	%
東	部	82	798,720	63,027,850	331,771	11,552,536	74,912,157		9.4
高	松	32	368,240	22,040,083	2,226,140	800,752	25,066,975		6.8
小	豆	1	8,000			71,533	71,533		0.9
中	讃	36	329,290	24,034,822	3,446,273	2,551,991	30,033,086		9.1
仲	多 度	38	383,910	59,017,706	4,119,278	4,096,249	67,233,233		17.5
三	豊	31	403,870	56,402,852	2,404,895	8,883,382	67,691,129		16.8
	計	220	2,292,030	224,523,313	12,528,357	27,956,443	265,008,113	79,502,335	11.6

事故の概況

平成30年度の支払実績は、203件、220棟(前年度 178件、198棟)が罹災し、支払共済金は2億6,500万円(前年対比 115.0%)であった。

共済種類別は、火災共済が 95件、106棟、支払共済金は 2億3,666万円(前年度 123件、134棟、2億2567万円)、総合共済は 108件、114棟、2,834万円(同 55件、64棟、478万円)と大幅に増えた。

事故原因別では、火災事故は 23件、28棟、支払共済金は 2億2,452万円(同 18件、21棟、2億1,038万円)を支払った。

罹災原因は、灯火 5棟、その他の火の粉 3棟、たばこ 2棟、漏電 4棟、類焼 3棟、取灰 2棟などであった。その内、全損事故に係る支払いは、6件、9棟、支払共済金は 1億2033万円となっている。

車両等の衝突や落雷等の拡張担保事故では、80件、86棟、支払共済金は 1,252万円であった。

自然災害では、100件、106棟、2,795万円の支払いとなり、そのうち台風21号(9月4日)、台風24号(9月30日)の損害は自然災害の9割以上を占めた。

建物共済原因別事故発生状況

事故の原因	項 目	事故棟数	加入総共済 金額 (イ)	支払共済金 (ロ)	再共済金	被 害 率 (ロ) / (イ)	備 考
		棟	千円	円	円	%	
失	火	25	341,060	222,404,458		65.2	
類	焼	3	30,120	2,118,855		7.0	
火	災 計	28	371,180	224,523,313		60.5	
拡	張 担 保	86	1,010,250	12,528,357		1.2	
風	水 害 等	106	910,600	27,956,443		3.1	
	計	220	2,292,030	265,008,113	79,502,335	11.6	

2 農機具損害共済

(引受関係)

支所	項目	加入台数	共済金額	共 済 掛 金		1台当たり 平均共済金額
				純共済掛金	賦課金	
東 部		3,813	8,761,090	27,333,056	8,257,661	2,297,689
高 松		4,523	10,737,050	32,339,048	9,945,838	2,373,878
小 豆		205	271,770	864,705	249,227	1,325,707
中 讃		3,444	8,793,700	26,065,203	8,141,793	2,553,339
仲 多 度		2,669	6,702,810	20,750,769	6,349,121	2,511,356
三 豊		6,673	15,536,190	46,382,241	14,455,201	2,328,217
計		21,327	50,802,610	153,735,022	47,398,841	2,382,080

(注) 総共済掛金 201,133,863 円

(参考)

項 目	加入台数	共済金額	手持共済掛金
前 年 度 対 比	98.1%	99.5%	100.1%
事 業 計 画 対 比	99.2%	100.5%	103.3%

引受の概況

損害共済の引受台数は、21,327台（前年対比 △408台、98.1%）、共済金額は 508億261万円（同 △2億5,253万円、99.5%）となった。

機種別加入状況は、乗用トラクター 9,600台（同 △207台、97.9%）、自脱型コンバイン 5,547台（同 △204台、96.5%）、田植機 2,682台（同 △52台、98.1%）で、この主要3機種合計で17,829台となっており、引受全体の83.6%を占めている。

(事故関係)

支所	項目	事故台数	加入総共済 金額 (イ)	支払共済金 (ロ)	被 害 率 (ロ) / (イ)	備考
東 部		209	823,250	29,204,027	3.5	
高 松		254	957,850	23,593,486	2.5	
小 豆		6	7,220	1,368,307	19.0	
中 讃		164	595,830	17,526,453	2.9	
仲 多 度		203	749,690	24,007,242	3.2	
三 豊		327	1,252,270	27,482,502	2.2	
計		1,163	4,386,110	123,182,017	2.8	

農機具損害共済原因別事故発生状況

事故の原因	項目	事故台数	加入総共済 金額 (イ)	支払共済金 (ロ)	被 害 率 (ロ) / (イ)
衝 突 ・ 接 触		1,056	3,989,730	82,474,549	2.1
異 物 の 卷 込 み		51	206,580	3,326,246	1.6
墜 落 ・ 転 覆		34	91,770	28,960,439	31.6
獣 害		9	45,900	240,376	0.5
そ の 他 稼 動 中 の 事 故		5	13,100	117,198	0.9
火 災 等 の 事 故		8	39,030	8,063,209	20.7
計		1,163	4,386,110	123,182,017	2.8

事故の概況

平成30年度は横転・転覆事故が多発した年で、総支払共済金の24%を占めている。

事故台数は、1,163台（前年度 1,290台、前年対比90.2%）、支払共済金は1億2,318万円（同 1億2,981万円、94.9%）となった。

機種別では、自脱型コンバイン 531台、5,889万円（前年度 602台、5,891万円）、乗用トラクター 477台、4,769万円（同 520台、5,659万円）、田植機 58台、541万円（同 76台、634万円）で、3機種合計 1,066台となっており、事故全体の91.7%を占めた。

原因別では、稼働中の事故 1,146台、1億1,487万円（同 1,268台、1億2,552万円）、火災等の事故 17台、830万円（同 22台、429万円）となった。

稼働中の事故の内訳として、衝突・接触1,056台、8,247万円（同 1,168台、9,151万円）異物の巻込み 51台、332万円（同 24台、284万円）、墜落・転覆 34台、2,896万円（同42台、2,945万円）などとなった。

全損事故での支払いは合計8台、1,463万円（同 3台、248万円）であり、内訳は火災事故が3台、計737万円、墜落事故が 3台 計630万円、転覆事故が 96万円であった。

平成30年度の損害率（支払共済金/純共済掛金）は 80.1%（前年度 84.5%）であった。

(7) 農機具更新共済関係

(引受関係)

支 所	項 目	加入台数	共済金額	減価共済金額	共 済 掛 金		賦課金
					純共済掛金		
					損害部分	減価部分	
		台	千円	千円	円	円	円
東 部							
高 松		11	26,210	26,210	78,004	3,293,386	104,840
小 豆							
中 讃		2	2,460	2,460	7,316	296,604	9,840
仲 多 度		7	21,720	19,980	64,530	2,286,247	86,880
三 豊		4	11,450	11,450	34,025	1,405,500	45,800
計		24	61,840	60,100	183,875	7,281,737	247,360

(注) 総共済掛金 7,712,972 円

引受の概況

更新共済の引受台数は24台（前年対比 △19台、55.8%）、共済金額は6,184万円（同 △5,045万円、55.1%）、減価共済金額は、6,010万円（同 △4,903万円、55.1%）となった。

更新共済における上位3機種種の引受は、乗用トラクター 15台（同 △10台、60%）、田植機 2台（同 △2台、50.0%）、乾燥機 2台（同 △2台、50.0%）となっている。

(事故関係)

支 所	項 目	事故台数	期間満了台数	加入総共済金額(イ)	支払共済金		被害率(ロ)/(イ)
					災害共済金(ロ)	減価共済金	
		台	台	千円	円	円	%
東 部			1	5,300		5,300,000	
高 松			5	8,310		8,310,000	
小 豆							
中 讃			5	13,180		13,180,000	
仲 多 度		1	3	13,160	35,640	5,940,000	0.3
三 豊			3	8,600		8,600,000	
計		1	17	48,550	35,640	41,330,000	0.1

事故の概況

平成30年度の事故による支払台数は1台（前年度 5台）、災害共済金は35,640円（同 435,738円）となった。

共済責任満了による支払いは17台（同 21台）、減価共済金は4,133万円（同 4,472万円）となった。

事故と期間満了による総支払台数は 18台（同 26台）、災害共済金と減価共済金を合わせた総支払共済金は 4,136万円（同 4,515万円）となった。

(参考)

項 目	加入台数	共済金額	手持共済掛金
	%	%	%
前 年 度 対 比	55.8	55.1	53.7
事 業 計 画 対 比	92.3	71.5	56.3